



☆家庭学習時間が増えました！

3学期末テストに向けての学習強化の取り組みでは、1人当たりの平均家庭学習時間が前回（2学期末テスト）よりも増えました。これからも学習の質と量を高め、2年生でも家庭学習をさらに充実させてほしいです。

	1年1組	1年2組	1年3組	1年4組	1年5組	1年6組	学年全体
平均家庭学習時間	2時間50分	4時間00分	3時間38分	3時間25分	3時間09分	3時間03分	3時間21分

前回：3時間05分

☆後期最後のプログラム委員会が終わりました！

2月25日（金）に後期最後のプログラム委員会を行い、後期の振り返りを行いました。授業では、学習強化の取り組みなどによって、挙手・発言をする人が増え、私語が減ったという点が挙げられました。また、学級での話し合い活動は協力的で、物事がスムーズに進んでいたり、級友同士の仲の深まりが見られたことも良い点として挙げられました。改善点としては、言葉遣いや言葉かけが不適切であったり、また、配慮を欠いたものになり、相手を不快な思いにさせることがあることと、授業と休み時間の切りかえが時々できないときがあるということが挙げられました。これらのことを改善できるようにプログラム委員を中心に声かけを続けていくということが話し合われました。

後期のプログラム委員は行動がとても積極的で、集団が良い方向に進むように、建設的な意見を出し合い、様々な取り組みや言葉かけを行ってきました。それによって学年が全体として成長し、それぞれのプログラム委員自身もリーダーシップが備わってきたのではないかと思います。

○扇子 静（1年1組 会長）

私は「人見知りを直したい」、「リーダーという仕事をやってみたい」と思い、会長になりました。この半年間で、責任感を持って様々な仕事に取り組んできました。でも、他の人から見ればそのように見えなかったかもしれません。もしそうだとしたら申し訳ないと感じています。学級としては、前期より授業での発表や反応が増え、チャイム着ができるようになり、給食準備が早くなったことが良かったと思います。また、学年全体は前期同様、みんな仲が良く、良い雰囲気だったと思います。

○富田 総司（1年1組 副会長）

僕は後期を振り返って、学級の雰囲気がとても良くなったと思います。僕はチャイム着ができるようになるために、授業開始2分前に「座って！」と声かけをしていました。今ではチャイム着がとても良くなるようになりました。しかし、学級ではからかいのような言葉や授業中の私語がまだ少しあります。それらをゼロにできなかったことは僕の責任だと感じています。この経験を次、副会長をするとき活かしたいです。

○岡村 大悟（1年2組 会長）

僕は会長になると、「みんなをまとめられる、カッコいい会長になりたいです。」と言いました。その目標を達成させるため、数々のイベントに参加したり、クラスでの呼びかけを一生懸命頑張りました。でも、僕はあまり注意ができないので副会長や他の仲間にも助けてもらったことがいっぱいありました。まだまだカッコいい会長になれていないのですが、自分なりに仕事を頑張れたと思いました。そして、会長としてみんなの様子を見てみると、あらためて1年2組は良いクラスだと感じました。

○前田 真里（1年2組 副会長）

私は後期副会長になって、会長を支えながら自分の役割を果たすことができたと思います。毎朝、職員室に出席簿を取りに行くときのあいさつなど、自分の行動に責任を持つことをいつも心がけていました。また、学年の取り組みではポスターを作ったり、すごろく方式で競い合ったりと様々なことをして、「私語」や「遅刻」が少ない学年に成長できたと思います。

○大島 優明（1年3組 会長）

自分は後期を振り返って、とても良い半年だったと思います。学年プログラム委員会では様々な取り組みをして、改善されなかった部分もあったけど、改善し成長できたところもあったので良かったと思います。3組は仲が良いし、楽しいという長所はありますが、授業での私語が多く、メリハリが弱いという良くないところもありました。しかし、今では授業中の私語も少しずつ減って、挙手も増えてきました。学年全体でも仲が良いと思うので、良いところを2年生でもさらに伸ばしていけたらいいなと思います。後期の半年間ありがとうございました。

○伊藤 空（1年3組 副会長）

私は後期の最初に「任せて良かったと思ってもらえるような副会長になります。」と言いました。そのためにクラスのことを誰よりも考えて、クラスのために行動しました。後期プログラム委員として様々な活動をしてきましたが、特に「Let's raise our hands week!」の取り組みが学年全体で成長できた取り組みだったと思います。私自身も挙手することができて、さらに授業を活気あるものにできたと思います。2年生に向けて、今できていることはこれからも続けていき、プロ委が中心となってさらに伸ばせていけたらと思います。今足りていない部分をみんなで補って、来年度への良いスタートを切りましょう！半年間ありがとうございました。

○吉野 智晶（1年4組 会長）

後期を振り返って、私は学級の中で授業態度が変化したと思いました。最初の頃に私語をしていた人が今では全然私語をしていないなど大きく変わった点があり、とても良かったと思いました。私は後期の間、自分のやる仕事をたくさん見つける、という目標をもって毎日を過ごしました。しかし、あまり見つけることができなかつたので、もっと広い視点で物事を見られるようにしたいと思いました。

○中嶋 俊太（1年4組 副会長）

僕は副会長という仕事を通して、たくさんのことを学びました。一番心に残った活動は「Good Word週間」の取り組みです。この活動を通して呼びかけの大切さを知ることができました。自分が呼びかけをすることで、より多くの方がGood Wordを意識して、言葉遣いを良くしてくれたと思うので良かったと思います。半年間ありがとうございました。

○東 和生（1年5組 会長）

僕は半年間、会長をして思ったことは全体的に「まとまり」があるなと思いました。前期はまだ少し学年全体がまとまっていないなと思っていましたが、後期になって学年全体に「まとまり」が出てきたなと思いました。コロナの影響であまり行事がありませんでしたが、少ない行事の中で学年全体で「まとまり」を自然につくっていることがいいなと思いました。そして会長をしてよかったなと思いました。

○谷川 渚（1年5組 副会長）

後期、私は自分の仕事に責任を持ち、行事や日々の授業に積極的に取り組むことができたと思います。前期と比べて「団結力」が深まり、様々な取り組みやテストに対して全力で取り組んでいる人が多かった、というのが学級として良くなった点です。『挙手カード』を取り入れることによって、挙手をする人が増えたということにはプログラム委員としての達成感を感じました。でも、まだまだ良くない点があるのでそこを徐々に改善していきたいです。私は学年全体が2年生に近づくにつれて、大きく成長したと思います。残りの日々で一人ひとりがお手本となる先輩像を描いて努力すれば、もっと成長できると思います。

○船登 幸稀（1年6組 会長）

私たちの学年はとても仲が良く、取り組みなどに積極的に参加してくれる人がたくさんいます。でも、取り組みをしても、まだ、挙手ができなかつたり、言葉遣いが直らなかつたりしている人もいます。2年生では自分たちの弱点を克服しながらみんなで成長していきましょう！私は学年プログラム委員長としての仕事で不安なことがたくさんありました。今、みんなに信頼してもらえるようなリーダーになれたかどうかは分かりませんが、みなさんのおかげで無事に委員長を務めることができました。約半年間、私たちに協力してくれてありがとうございました！

○上島 寛太（1年6組 副会長）

自分は副会長になって大きく成長できたと思います。会長の仕事を支えながら副会長としての役割を果たすことは意外と大変でしたがやり遂げることができました。学級も全員がクラスに溶け込めていて、居心地がいいクラスになりました。学級目標である「NGSK（なんでもがんばる素敵なクラス）」も達成できたと思います。